

集落営農法人と自治会の連携による鳥獣害の被害防止対策

1 要 旨

- 光市塩田地区は17自治会からなり、地域農業の担い手として（株）石城の里ファームが水稻・麦や大豆を主体とした栽培を行っている。
- 同地区では、深刻なイノシシ被害対策を講じていくために、令和2年度から地域ぐるみの取組を進めていくこととした。
- 取組に際しては、（株）石城の里ファームを核として自治会単位で順次取組を進め、得られた成果を他の自治会へも波及させていくこととし、令和2年度以降の入野自治会、助石自治会に続き令和5年度は十王自治会で取組を進めた。

2 地区の概要

地 区 名	光市塩田地区（十王自治会）
主な作物	水稻、大豆
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和6年度



3 被害の状況と課題

- ・ 地区内の山に隣接した水田でイノシシがワイヤーメッシュ柵を突破して稲穂の食害や畦畔の掘り起こし被害が発生している。
- ・ 被害が頻発する水田への頑丈な金網柵を設置することが急務となっている。

4 取組内容

（1）地域ぐるみ活動対策プランの策定

○地域学習会

地域ぐるみ活動の取組や効果について、被害農家や住民への理解促進を図った。

○集落環境点検活動

農業者及び住民との集落点検活動により、現地状況を確認の上、集落環境点検マップを作成。アンカーを使って応急的に防護柵を補強する具体的な箇所と積極的捕獲を行うことについて共通の認識が得られた。

5 取組の成果

- 鳥獣害対策について、自治会と地域農業の担い手（(株)石城の里ファーム）の連携による集落ぐるみでの対策の効果について共通認識が図られた。
- 集落環境点検マップが作成され、防護柵の設置計画等が策定された。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	553	277	▲276	—	—	—	—



6 地区代表者のコメント

【十王自治会被害住民】

地域ぐるみの鳥獣害被害防止対策に取り組み、国交付金を活用したイノシシ用侵入防止柵の設置により被害を軽減して地域の農業を守っていききたい。

【(株)石城の里ファーム】

深刻なイノシシの被害を軽減し、より安心な農業生産活動を実現していききたい。また、地域を担う中核経営体として経営基盤につなげるとともに、新規就農者等新たな雇用者の受け皿としても、地域の農業を守っていききたい。

7 今後の取組

【防護】

- 地域で一体的な防護柵を設置し、維持管理を図る。

【捕獲】

- 光市鳥獣被害対策実施隊による捕獲と自衛わなによる捕獲により被害の軽減を図る。

【生息管理】

- 地域ぐるみでの周辺草刈、竹林伐採、果樹木管理を適切に実施する。